

うた ひつじの詩だより

2007. 4 1
毎月発行 No.73
この便りはご注文の品と
いっしょにお届けします

東京では2月に春一番が吹いたあと、3月に初雪が降りました。そして、桜は4月を待たずに満開になりました。いつもの年と違うことだらけ、不思議な冬から春への移り変わりでした。この先、めぐってくる季節は、どんどん加速していくのでしょうか？



指人形 春の花の精

こんにちは！すみれちゃん、たんぽぽちゃん、本当に春がきましたよ！クリスマスに大変ご好評をいただきました白樺の指人形セット、春バージョンの登場です。白樺の木でできた胴体に春らしい色のチューブジャージを着せて、春のイメージを膨らませましょう。外を歩くと、道端や空き地にはたんぽぽが満開です。もう綿毛に着替えた気の早いたんぽぽもちらほら。山道を行けばスミレにも出会えるでしょうか？ワクワクしてきますね！

(春の花の精の指人形キット 2体分 1,350円)



スウェーデンひつじの詩舎からのお知らせ

- ☆ 取り扱いキットのうち、「まりーちゃんとばたぼん（モビール用 7cm）」、「ファンタジーの馬」、「ぬいぐるみの動物用布セット」は、在庫がなくなり次第、販売終了となります。
 - ☆ 「ぼんぼん鳥 つーくろっ！」のキットは、鳥の木型が2つ増えて、5羽分で1,000円に変更いたします。
 - ☆ 「シルクの妖精」のマリオネットは、ピンクとクリーム色の組み合わせ一種類のみとなり、価格は2,650円になります。
 - ☆ シルクの天使の価格は2,400円に変更いたします。
- 価格等の変更は、2007年6月1日より実施させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

ひつじ よーもーやまばなし

—その3—

「ウールの不思議」

羊毛は私たちの皮膚や爪と同じようにたんぱく質からできています。19種類のアミノ酸からなるその繊維は人にきわめて近い素材だそうです。効率性・利便性を追求するばかり、さまざまストレスにさらされている私たち人間にとって違和感がなく、自然で身近なものなのです。空気と太陽、適度の雨と牧草があれば、羊毛はすくすく育ち、その恵みとしてのウールを私たちはいろいろな形で利用しています。

そのくるくるとした“ちぢれ”はクリンプと呼ばれ、繊維がよく絡み合い、ふわふわの感触になります。皆さんもご存知の毛糸、カーペット、そして布団などにも利用されています。

ウールが暖かいとを感じるのは、絡み合ったわたの中に空気を含み、暖かさを外に逃がさないからです。ポリエステル、ナイロン、綿などの繊維に比べても熱を伝えにくい（暖かさを保つ）性質に優れています。

また、ウール製品はムシやジメジメした嫌な感じがしません。湿気をよく吸収する性質をもち、案外夏でも快適な素材なのかもしれません。たんぱく質で構成されたウールは、土の中で少しずつ分解される“自然に還る地球にやさしい繊維”でもあります。人間にとってストレスの少ないウールは、赤ちゃんからお年寄りまで快適で安心感のある素材なのです。

ひつじおじさん 日比野祐三

ばたぼんの仕事展 ウォルドルフ人形 ~遊びの風景~ スウェーデンひつじの詩舎講師 “ばたぼん” の作品展

4月6日(金)~8日(日) 小さな家 水戸市酒門町 301-2

TEL:029-248-7639 担当:木下久子・根本裕美

4月20日(金)~22日(日) セキスイギャラリー 仙台市青葉区本町 2-16-10

*会場の都合で2月から変更になりました。担当:清野トモ子・阿部美知子

昨年から続いて開催して参りました作品展、いよいよ最終章です。お近くのみなさま、どうぞ会場へお運びください。

ばたぼん通信

こどもはスゴイ

こんにちは。4月は入園・入学、進学等々…新たな扉が開かれるときですね。扉をくぐられた皆さまおめでとうございます。ドキドキ・ピカピカ感、満載のことと思います。

…この感じ、私に向けられることがあります。一番強く向けられるのは、幼児から低学年のお子さんとの手仕事ワークのときです。なにをするの？おもしろそう！興味津々のピカピカ感。あまりにもピカピカしているので、ピカピカ光線を向けられる私はちょっと気恥ずかしいくらいです。

手つきを見せながら説明をするのですが、こういうときのおさんはスポンジの如く吸収します。その子の全身が目、あるいは耳になったようです。まるで、お子さんに飲み込まれた気がして、私はちょっとドキドキしながら説明をするのです。そして手を動かし始めたお子さんをみると、私とそっくりの動きをしているのでびっくりすることもあります。



上の年頃になると、違った雰囲気が出てきます。年齢が上がるほど、その子の意志が加わるといいますか、基本を理解したら自分の感覚で作り始めるのです。そうして出来たものは、てらいがなくて真っ直ぐで、とってもステキです。子どものセンスには、いつも脱帽！刺激もたくさんもらえます。そして仕上げのお楽しみは…小さな子も大きな子も、作品を作り上げたときの表情が良いのです…その表情を見せてもらえるのを私はすごく楽しみにしています。私ったら、こうしてワークの度、それぞれの子にそれぞれの感動をもらえるなんてシアワセですよね。みんな、ありがとうございます。

手仕事って木工したり、お料理したり、いろいろだと思います。実に日常的なもの…みなさんもきっと何かしていただけるでしょう？次はお子さんと一緒に、是非…お子さんのパワーをたっぷり感じてくださいね♪

堀 玲子（山口県周南市在住）

編集担当:佐藤治子
スウェーデンひつじの詩舎のホームページ
<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

スウェーデンひつじの詩舎
スペース ベレのあたらしいふく
〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2
TEL/FAX 045-881-6900,6665
佐々木のアトリエ TEL/FAX 045-811-6708
相談窓口/金担当:寺田裕子045-881-7035